

大学院特別プログラム

基盤理工学 オープンイノベーションプログラム

OIプログラム事務室：東3号館626号室（内線5263）

問い合わせ先教員：古川 裕介特任准教授、桂川 眞幸教授、米田 仁紀教授

contact@oi.es.uec.ac.jp

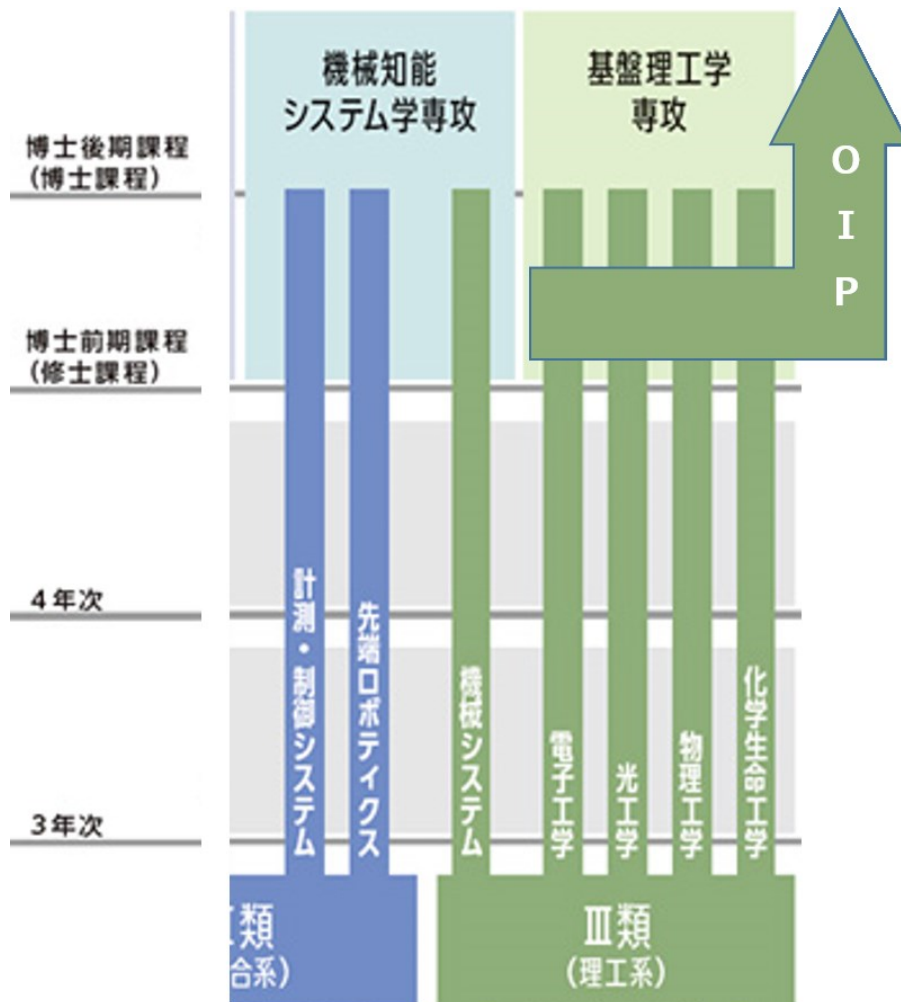
<http://www.oi.es.uec.ac.jp>

Ⅲ類2年次ガイダンス用資料

OIP



修士・博士5年一貫特別教育プログラム



・ 基盤理工学オープンイノベーションプログラム (OIプログラム) は博士後期課程 (博士課程コース) への進学志望を支援する基盤理工学専攻の大学院特別プログラムです。

・ 基盤理工学専攻に進学する/進学した学生が、配属研究室を問わずOIプログラムの履修を志願できます。

OIプログラム履修モデル

OIプログラムの目的はOIラボワークを通じて分野の枠にとらわれない研究姿勢を育てることです。OIラボワークの履修は、修士・博士5年間で3科目（うち修士2年間では2科目以上）を選択必修とし、これらの取組みを修士論文にまとめます。

大学院進学後OIプログラム志望
（または大学院院試）

博士学位を取得した将来を
イメージ

(1) 飛翔体工学ラボワーク
レーザーの基礎とレーザーを用いた
微粒子の可視化技術を学ぶ。

JAXA

修士1年前期

(2) 超精密計測学ラボワーク
周波数標準技術を中心に
光計測を学ぶ。

NICT

修士1年後期

(3) ナノ光科学ラボワーク
先端レーザー技術で生体分子の
微量分析、生体内観測法を学ぶ。

農工大

修士2年前期

修士課程論文発表会
OIラボワークのまとめを
特定課題として提出

博士研究提案

(※) グローバルラボワーク
指導教員と派遣先を相談

OIスクール
各ラボワークの成果報告会を実施し、
自分のラボワークで取組みを発表
するとともに、他のOIプログラム履
修学生のOIラボワークの取組みを聴
いて知識を共有する。

OIラボワークでの取組みを博士の研究テーマ
として提案したり、共同研究として継続するこ
ともあり得る。

積極的に専門外の知識・技術を習
得し、研究にフィードバック。

一か月程度

独創的なアイデアで研究
を進められる博士人材に

OIプログラムのラボワーク科目

- OIプログラムのカリキュラムでは通常の講義科目の履修に替えて、OIプログラムが開講するオープンラボワーク（実験科目）を選択必修科目として履修します。



オープンラボワーク群 （実験科目） 選択必修

ナノ光科学ラボワーク
超精密計測学ラボワーク
飛翔体工学ラボワーク
極地物理学ラボワーク
宇宙天文学物理学ラボワーク
国際文化言語学ラボワーク
顕微物理学ラボワーク
グローバルラボワーク

- オープンラボワークは学外の先端研究を実践的にまなぶ実験科目、研究インターンシップ型の科目です。



電通大とオープンラボワーク実施機関

それぞれの
ミッション・専門分野



東京農工大学 (TUAT)
農学と工学を中心とし、その
融合分野も含めた教育研究

研究の
進め方・文化



国立極地研究所 (NiPR)
南極大陸・北極圏の極域の
観測を基盤とする総合研究



情報通信研究機構 (NICT)
総合ICT・センシング・デー
タ利用・サイバーセキュリ
ティーなどの情報通信分野



電気通信大学 (UEC)
情報・通信・電子・メカトロニクス・基
礎科学・広くコミュニケーション科学、
「光」を核とする科学と技術の融合



東京外国語大学 (TUFS)
日本を含む世界諸地域の言語・文
化・社会に関する教育と研究



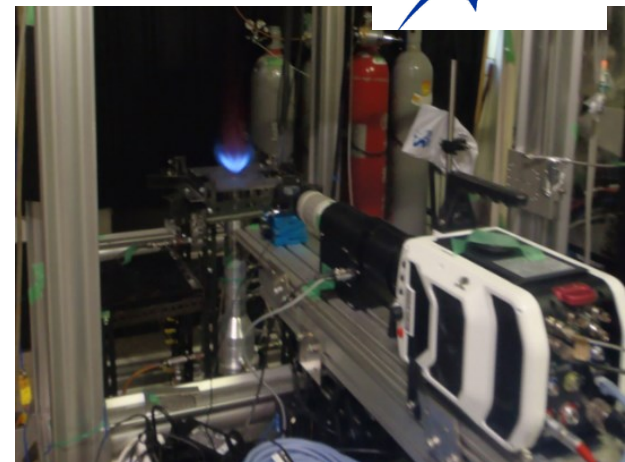
宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
宇宙航空分野の基礎研究・開発・
利用を一貫する機関



国立天文台 (NAOJ)
地球・太陽系・恒星・銀河・銀河
団・大規模構造・膨張宇宙など、宇
宙の様々な現象の観測と理論研究

OIラボワークを開講する教育研究機関

- 電通大の周辺に教育研究機関が集まっているため、柔軟なスケジュールでOIラボワークを履修できます。つまり、電通大での学修とOIラボワークが両立できる。



多摩教育研究拠点ネットワーク

OIプログラム・OILラボワークのメリット

- 異なる分野の研究テーマを実際に手を動かして学べます。
 - OIプログラムのラボワークで研究分野を横断した研究経験は、将来のあなたの選択肢や決断を後押ししてくれるでしょう。
- 研究室を越えた学内外の研究者・学生と交流できます。
 - 大学院の研究生活の中心は所属の研究室となります。
 - OIプログラムに関わる教員・学生のコミュニティを活用してください。自分のアイデアの実現を手助けしてもらいましょう。
- OIプログラムの履修に経済的サポートがあります。
 - ラボワークにかかる交通費・経費の負担はありません。
 - OIプログラム修士課程学生には電通大RA相当の経済的サポートをしています。

OIプログラムのこと、ラボワークのこと、何でも、いつでも質問してください。

contact@oi.es.uec.ac.jp